

【第 54 回対策本部会議】 1 月 8 日

司会／昨日、1 都 3 県に対して緊急事態宣言が出された。東京では、2,447 人の感染が確認されている。九州では、福岡、長崎、宮崎で最多を更新。本県は、昨日の感染者が 21 人。一層の警戒が必要。

健康福祉部長／福岡は、グラフのように 300 人を超え急増している。本県は、4 日に 23 人だったが、急増せずに持ちこたえている。ひとえに本県で取り組んでいる、幅広い調査、検査が効果を表している。

5 日から 7 日の陽性者の内訳

この間をグルーピングした。1 家族親族で 9 人の感染者が出たケースもあり、感染しやすくなっている。

病床のひっ迫具合

病床全体で 14.9%、ホテルが 16.1%。前回の本部会議時よりも高くなっている。医療現場のご苦勞に改めて感謝したい。

医療統括監／これは九州各県の、7 日間移動平均線のグラフ。7 日間の陽性確認者の平均を点で表わしているので、増減の傾向や方向性などがイメージできる。福岡県は、7 日が 200 人。福岡県と熊本県は、人口が違うので数値は離れているが、グラフの形が似ている。

7 日の平均をとっている理由は、曜日ごとのばらつきをなくすため。また、発症後、陽性確認までおよそ 2 日間と短期間であるため、7 日間平均でもタイムラグなく動向が見えてくる。

福岡県が、最近急増しているのがわかる。

次のグラフは、福岡県を除いたもの。人の流れ、医療機関での対応、保健所のクラスター対策、感染対策が影響すると思われる。

熊本県、鹿児島県、大分県の形が似ていて、12 月初旬に一度上がり、いったん下がるものの中旬から下旬にかけて再度上がっている。

長崎県は、12 月上旬から急増している。

宮崎県は 12 月末から、下がることなく急増している。

佐賀を含む他の県では、三が日過ぎから増えている。帰省の影響か、医療機関の休診の影響なのかは不明。本県は、三が日あたりから、7 日間の平均が増え始めているので警戒が必要。

急増している他県は、クラスターが多発し、かつ全県的に広範囲での広がりが見える。

坂本副知事／感染予防対策は基本だが、家庭内で常時マスク着用は現実的に難しい。家庭内では、体調不良の人がいたり、基礎疾患の持病があったり、来客がある場合に家庭内でもマ

スク着用という考えでいいか。

健康福祉部長／はい。そのように考えています。

知事／長崎県は、12月上旬から急増している。宮崎県はもっと急カーブで増えている。このような増え方を危惧している。今まさに、その急増するかしないかのポイント。11日までが正念場。全体の傾向が出る、実にわかりやすいグラフになっている。

政策部長／7日、東京、埼玉、千葉、神奈川に緊急事態宣言が発出された。

期間は、1月8日から2月7日。

内容は、午後8時以降の不要不急の外出自粛

イベントの人数制限。上限が5,000人かつ収容率50%以下。

飲食店は、20時までの営業時間短縮。酒類の提供は、午前11時から19時まで。

時短に応じた飲食店には、協力金が1日当たり6万円。

テレワークの推進。出勤者数の7割削減を目指す。

また、緊急事態宣言発出解除の考え方が新たに記載された。

発出は、分科会提言におけるステージ4相当の対策が必要な地域の状況等を踏まえて総合的に判断する。

解除は、ステージ3相当の対策が必要な地域になっているか等を踏まえて総合的に判断する。

副教育長／児童・生徒が陽性になるケースが増えている。ほとんどが家庭内感染。受験シーズンを迎え、家庭内でいかにリスクを低減させるかが重要になってくる。基本的な感染症対策に加え、受験生とのタオルや食器類の共用をしないなどの工夫をお願いする。

部活動は、県外の学校・チームとの交流を自粛するよう通達する。

また、他県では学生寮でクラスターが発生した事例がある。寄宿舍で生活する児童・生徒は、徹底した感染症対策をお願いする。

これは、本日付で全県立高に通知する。市町の教育委員会にも同様の対応をお願いする。

知事／昨日の感染者21人中、新規は4人、残りは陽性者の接触者。このようにフォローしていくことが大事。宮崎県や長崎県は、ステージ4、佐賀県は病床が埋まってきてステージ2。

ステージ2から1へ下げよう、今、努力しないといけない。

医療従事者、介護、保育、学校、それぞれの現場が頑張っているから、この状況を維持できている。心から感謝申し上げる。

12月に基山町が実施した100人の抗体検査、大町町が実施した成人式出席者88人のPCR検査は、全員陰性だった。接触者の検査で、小学校250人、保育所30人を調べたが、全員陰性。これらを考えると、市中感染はないと言える。陽性者のお話を聞き、その先を封じ込めて

いく仕事をこれからも続けていく。

佐賀県は、大家族や親戚が集まる機会が多く、一度に 9 人が感染することもある。それは仕方がないことで、家庭内から外に感染が広がり、横方向につながることを抑えるよう気をつけたいといけない。

県民の皆さんに、福岡県、長崎県など県外での会食はできる限り自粛をお願いする。多くの陽性者は、他県での会食から。これを封じれば、有効な対応がとれる。

また、成人式ではマスク着用で出席してほしい。成人式後の同窓会、カラオケは、マスクをとるリスクがあり避けてほしい。友人同士のドライブは、車内でもマスクを。ぜひ、協力してほしい。

6 日にアパホテルを視察した。ホテルに詰めている看護師さん、県職員、ホテル関係者のみなさんに感謝申し上げます。アパホテルは、「プロジェクトM」の心臓部。これからもよろしく願い申し上げます。

これからも、感染者数はでるだろうが、注意すべきは新規感染者数。追いかけて封じ込められる体制を維持したい。そのためにも、誹謗中傷しないようお願いする。

毎朝の検温を習慣化し、熱がある場合は行動自粛を。

今が大切な局面。オール佐賀、チーム佐賀で乗り切りたい。